

## 三宿駐屯地衛生学校見学

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明1陸尉）は、8月22日（木）、陸上自衛隊三宿駐屯地（東京都世田谷区）にある陸上自衛隊衛生学校の見学に募集対象者を引率した。当日は、自衛隊の救急車の見学や、人体模型を使用した衛生技術体験が行われ、参加者からは貴重な体験ができたとの感想があった。

自衛隊の11/2t救急車（通称「アンビ」）の見学では、参加者は車両・装備についての説明を、メモを取りながら真剣な面持ちで聞いていた。説明後は実際に担架に横たわってんだり、乗車人数や上下2段の搬送用ベッドなど一般の救急車との違いについての質問が飛び交った。

衛生技術体験では、負傷状態を再現した精緻な人型模型を使用して実習が行われた。参加者は医療関係の学校に通っている方が多く、人型模型のリアルさに驚く広報官をよそに、それぞれが冷静にしっかりと模型に対し救急法、止血法を施術していた。

また、自衛隊の施設内に入ったことを喜び、売店の自衛隊グッズにも興味を示した参加者もいた。

川崎出張所は「今回、衛生科という自衛隊の専門的な分野を知っていただいた。今後も、受験に繋がる興味のある分野を紹介し、自衛隊への理解と関心を高めていけるよう活動していきたい」としている。



## 「あやせ大納涼祭」において募集広報

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、8月25日（日）、綾瀬市光綾公園で開催された「あやせ大納涼祭」において募集広報を実施した。会場ではバルーン遊具や水鉄砲など各種体験コーナーや、盆踊り、神輿の練り歩きなどたくさんさんの納涼イベントが企画され、猛暑のなかでも早くから多くの地域住民の方々が集まり、午後4時からの開催時間が早まるほどの大盛況となった。

厚木募集案内所は、「はたらく車ブース」において自衛隊コーナーを出展した。綾瀬市消防本部の消防車、綾瀬市のパトカー車、神奈川県警のミニ白バイとともに、陸上自衛隊中央輸送隊の支援を得て「1/2tトラック」の展示をはじめ、隊友会県央支部及び自衛隊家族会海老名綾瀬地区会の支援も得て「南極の氷」体験や、「自衛隊入隊制度」の説明を実施するなど、自衛隊への理解促進に努めた。

展示した「1/2tトラック」には長蛇の列ができ、「乗っていいですか」、「かっこいい」、「一緒に写真撮ってください」など、たくさんさんの笑顔とピースサインが見られ、地域住民の方々との交流が図れた。また、「南極の氷」体験では、「冷たい」、「ぶっやって持ってきたの」、「夏休みの宿題にできる」などの声上がり、多くの手のひらに『南極』を感じていただくことができた。午後8時の閉会前には突然の雨となったが、海上自衛隊厚木航空基地の「ちどり連」による阿波踊りの演舞や神輿練り歩きをフィナーレとして大納涼祭と募集広報は無事に幕を閉じた。

厚木募集案内所は、「今後も地元イベント等を通じて地域に根ざした募集広報と防衛及び人的基盤の拡充に努めていきたい」としている。



賑わう募集広報ブース



ちどり連の演舞



笑顔とピースサイン